

令和3年度の委員会運営方法について

1 付議事件

都市の成長の基盤を支える魅力と活力ある郊外部のまちづくりに関すること。

(参考：過去の特別委員会における調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和2年度	郊外部における地域の価値を高める仕組みづくりについて
令和元年度	郊外部を活性化させる持続可能な地域交通について
平成30年度	郊外の集合及び戸建住宅団地等の再生による街の活性化

- 2 市会運営委員会（平成24年5月8日開催）での特別委員会運営方法に関する決定事項
- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。

- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和3年度調査・研究テーマ案

新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部について

(テーマ選定理由)

本市は、住みたい街ランキングで常に上位であるが、それは中心部の話であり、郊外部、特にその住宅地においては、利便性やニーズをどのように捉えて賑わいを創出していくかが、大きな課題となる。

令和2年度、本市においては人口減少こそしなかったが、これは、都市政策や、近年トレンドであった「職住近接」の志向が薄まったこと等による社会増によるものと考えられる。しかし、日本全体では人口は減少しており、本市においても今後人口が減少していくことは確実である。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行等を契機とし、首都圏を中心に新たな生活様式、消費行動、働き方等が生まれており、郊外部は「住むだけの場」に留まらず、「働く場」、「交流する場」など、様々な観点から利活用が見込まれる。

このような潮流の中、今後、本市郊外部の活力を取り戻し、魅力あふれるものとするためには、それぞれの目的に合致した「選ばれる郊外部」へと発展させる必要がある。従来の視点にとらわれず、刻々と変化する郊外部のあり方を調査・研究し、課題解決を図るため、当委員会では、今年度はこのテーマに基づき、本市の取り組みの検証、他都市の取り組みの調査及び有識者からの意見聴取などを実施し、多面的に調査、研究を行うこととした。